重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: ホイールトラクタ	現地の通称: MC cormick－Deering10－20形

資料種別: ◉製品-実物 ○製品-レプリカ ○製品-模型 ○製品図面 ○写真等 ○図書掲載 ○その他

資料種類: 動力・分野	☐人力用具 ☐耕起前器具 ☐管理防除 ☐貯蔵関連 ☐畜力用具 ☐耕耘用具 ☐収穫機 ☐施設類 ☐原動機具 ☐整地用具 ☐調製機器 ☐機素 ☒トラクタ用機 ☐施肥播種 ☐加工機器 ☐その他	管理プレートNo. 台帳No. 牝牛舎201

製作者・会社: International Harvester Co. Ltd. 製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年:

使用目的・使用方法等

今日も国内に残る車輪型トラクタ標本その６

利用経過_収集記録_意義等

北大第２農場所蔵。元来は丘珠の谷口農場が大正15年から昭和3年の3年間に3台のトラクタとモーア，テッダ，レーキ，プラウ，ハローを導入しており、この内の１台である。（高井:現存する鉄車輪トラクタを参照）
北海道の1935年の調査によると、鉄車輪トラクタは50台普及していたと言われる。

仕様書_解説等

右に全体図

Deering Tractor NO.KO-34-6
Brake H.P.　20Hp/1000rpm
Drowber H.P.　10 Hp

外観特色関連図等

資料の所在

牝牛舎

資料への特記事項

資料管理経過

作業メモ・上掲欄の超過文追記

日本における農業用トラクターの導入は、1909年（明治42年）に岩手県雫石町の小岩井農場が導入した蒸気式トラクターと、1911年（明治44年）に北海道斜里町の農場に導入されたアメリカ・ホルト製の内燃機関式トラクターが、それぞれ日本初といわれている。

台帳管理番号